

【学校だより】

南アルプス市立 小中一貫校 芦安小中学校



芦安っ子

【学校教育目標】
郷土を愛する心と夢を育み
未来を拓く人づくり

令和6年12月3日 NO.6 芦安小学校長

あと3週間で冬休み～2学期を振り返り新年を楽しく迎えよう～



早いもので充実した2学期も今週末で終わりを迎え、24日から冬休みとなります。今学期を振り返ってみると、子どもたちが諸行事や学習等で生き生きと活躍する姿をたくさん見ることができ、大変嬉しく感じました。ご家庭でも4月からの成長を大いに褒めてあげてください。子どもたちの成長は、地域や保護者の皆様方のご理解とご協力があってこそ実現できたことです。改めて感謝申し上げます。

20日の個別懇談でも、お子様の成長をお伝えします。それと共に、大切な「ふり返りの機会」としたいとも考えています。お子様のこれまでの成果や成長をお互いに確認しつつ、ご家庭での様子、学校への要望などを承る機会ということです。懇談の中でいただいたご意見は職員間で共有し、検討しつつ改善を図ってまいります（ご意見は随時受け付けております）。

さて、冬休みは、大晦日やお正月など、一年のうちでも日本の伝統行事や文化に触れる機会が多くなります。家族と過ごす時間も増え、年末年始ならではのお手伝いの場面も多く生ずるでしょう。この機会に、家族の一員としての自覚を高めるために、ぜひたくさんお手伝いをさせてあげてください。「家族の役に立つことができた」「喜んでもらえた」という体験と実感が、自信を生み、自己肯定感の醸成につながるものと期待しています。

1月10日（金）の3学期始業式では、子どもたちの元気な「おはようございます！」の声で新しい年を迎えられることを願っています。どうぞよいお年をお迎えください。

子どもを「評価する」ということ

～通知表「あゆみ」の発行に寄せて～



23日の終業式にお渡しする「あゆみ」。学期末の恒例ですね。各教員は今、多くの力を投入しています。このあゆみ（通知表とか通信簿とも言います）について、私は、若年時代に忘れられぬ思い出があります。以前にもお知らせした内容ですが、再掲いたします。

Aさんは、どうしても算数が苦手でした。授業中、真面目によく聞いていました。宿題は、時間をかけて何とかやってきました。でも「×」が多くありました。放課後、一緒に「宿題直し」や「補習」をしました。

ですが、単元最終の確認テストでは、成果がはかばかしくありませんでした。私はやむなく△を付けました。

Aさんは、体育も苦手としていました。跳び箱の3段が、どうしても跳べません。跳び箱の上に乗るだけで着地までいきません。何度か個別練習もしましたが、うまくいきませんでした。私はやむなく△をつけました。

そのような日々が過ぎ、終業式を数日後に控えたときに、打ち合わせの場で当時の校長が言いました。

評定に「△」をつけることもある。そのときに「痛み」を感じてほしい。「自分の力不足」ととらえるのだ。何のためにあゆみを渡すのか、その意味を考えてほしい。「次につなげるため」である。「次」というのは子どもだけでなく、評価した教師自身にも当てはまる。

あゆみの評価・評定は「その時点」という限定版だ。子どもはいつでも成長している。挽回するチャンス。「人を評価する」という行為はおそろしい。私達の仕事はそうした厳しさをもつ。「恐れ」でなく「畏れ」を。「評価するという事は、評価されること」でもある。心したい。

（気のせいかもしれませんが）まるで私の心を見透かしているように、校長は私の方を見ながら語りました。

次の学期。校長の言葉をかみしめつつ、休み中に勉強した指導法を用いて、体育でまた跳び箱を実施しました。すると、Aさんは跳べたのです。学んだ指導法も良かったのですが、何よりAさんが、がんばりました。「Aさん、やったね！あのときは△でも今は◎だよ！」と伝えたら、とっても良い笑顔で頷いてくれました。Aさんは、わずかながら算数も向上していました。きっと家でもがんばったんでしょう。

「あゆみ」は、便宜上「◎」や「○」などの記号と、文字数の限られた文章で評価・評定をしています。パッと見ると、ただの記号や短文に過ぎませんが、その子の努力や教員らのエネルギーがたくさん隠れています。それでもなお「一面」にすぎません。あゆみに現れない「その子の良さ」は、おうちの方々が一番ご存じだと思います。個別懇談では、そうしたことも話題になるといいなあと思います。

通知表「あゆみ」についてのお知らせ(再掲)

◇「あゆみ」の評価の表現方法が2年前から変更されています。以前は、例えば次のような評価項目でした。

「少数のかけ算の意味を理解し、計算ができる」。 「1学期に習った漢字の読み書きができる」。

このような評価方法を「単元別評価」と言います。今は「観点別」の評価方法で市内全域でそろえています。

【学習評価の見方】

文部科学省の指針に則り、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に集約しました。全学年同じ表現であり、抽象度が高くなっていますので、具体的な内容のアレコレにつきましても、個別懇談や普段のやり取りの中で確認・相談できればと思います。

【生活のめあて】

「基本的な生活習慣の習得」「健康・安全への意識」「思いやり」「生命尊重・自然愛護」などの主要観点10項目を、低・中・高の2学年ごとに文章表現を工夫して示しています。

【お願い】

○の記号は「不十分」ではなく「できた」や「よい」という意味です。そして△は「できない」ということではありません。担任から見て「今後伸ばすことができるよ。がんばろう！」という意味です。

◇通知表の目的は「その子のよりよい成長へつなぐために、励まし応援する資料とすると共に、教師自身の授業改善に役立つ」ということです。

本校では個別懇談も実施し、通知表だけでは説明しきれない、その子もよさや可能性、成長の足跡を保護者の皆様と伝う合う場も設けております。様々な機会を通して学校と家庭で連携していきたいと考えております。「あゆみ」が届きましたら、ぜひお子さんをたくさん労い、励ましてあげてください。

写真ギャラリー(ホームページから) 白峰祭開催!



← 来校した早川北小のみなさんと

かつこよかった
夜叉陣太鼓 →



芦安小のホームページ。日々の様子を記録しています。「学校のひろば」から、ぜひご覧ください。

二次元バーコードはこちら!



行事予定

【1月の主な予定】

- 10日(金) 始業式 11:45 下校
- 13日(月) 給食開始
- 16日(木) 井川先生来校 書写指導
- 17日(金) スキー教室(4~6年)
- 20日(月) 委員会活動
- 27日(月) 3年社会科見学
- 30日(木) ボルダリング体験

※ 行事予定は、くわしくは後日配付の各学年のお便りでご確認ください。